

「ICTによる最高のおもてなし」 2020東京オリンピック・パラリンピック

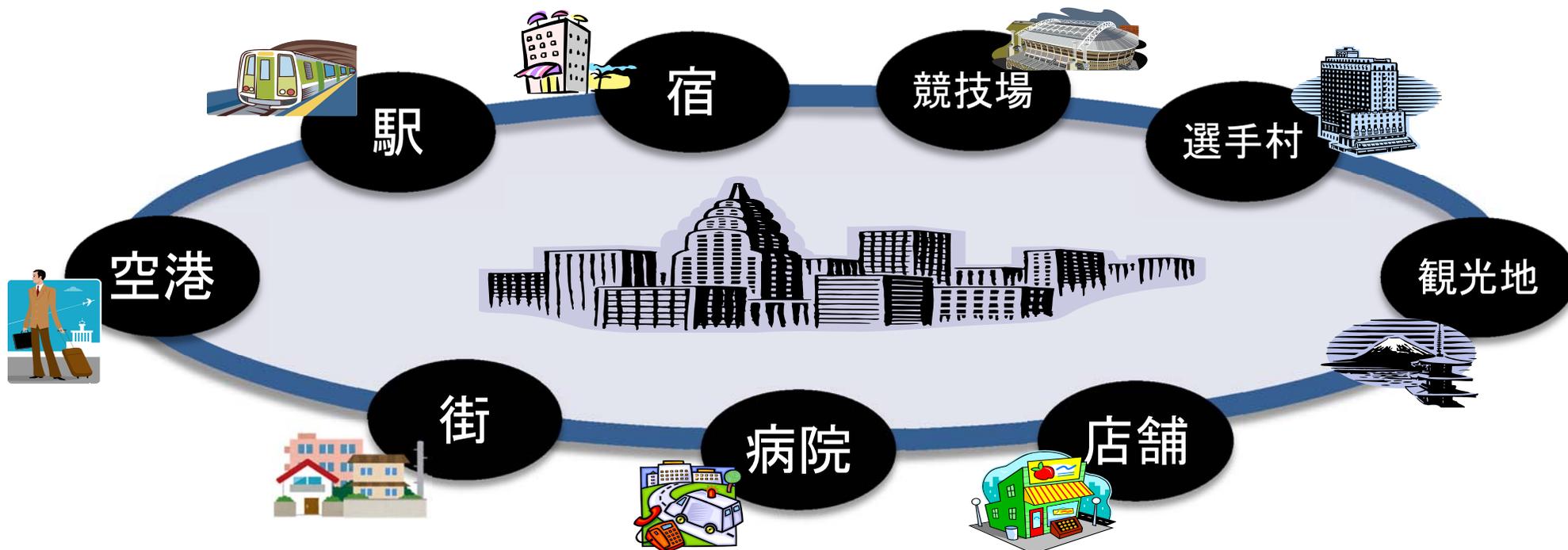
平成26年6月
オリンピック・パラリンピックおもてなしグループ

スマートな
入国手続き

スマートな
移動

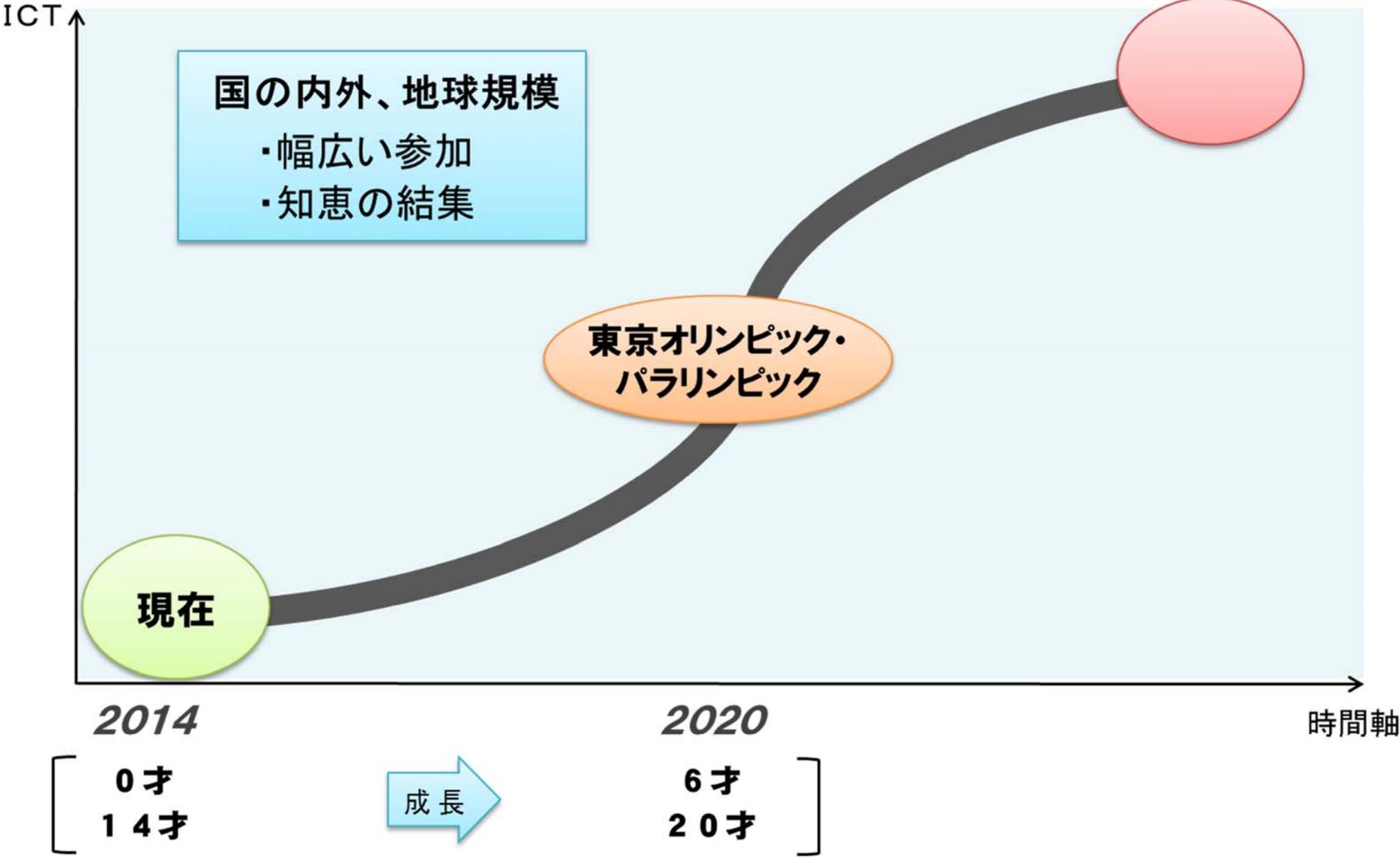
競技中

滞在中



全国各地・世界各国に展開

進化し続けるICT



国民参加で「ICTによる最高のおもてなし」を実現 (新たなイノベーションを世界に発信)

取り組むべき施策

スマートな 入国手続き

- 簡単かつ便利な
本人認証・サー
ビス

スマートな 移動

- 安心・安全かつ
円滑な輸送

競技中

- 各種関連情報の
オープンデータ化
- 超高精細映像の
視聴環境の整備

滞在中

- ユニバーサル環境
の整備(多言語対応等)
- 日本の情報や魅力
の発信

世界最高水準のICTインフラの整備

国民参加の実現(国内外からアイディア募集等)

2020年オリンピック・パラリンピック立候補ファイル(抜粋)

- 日本が誇る創造力とテクノロジーを駆使し、スポーツとオリンピックに寄与。
- 素晴らしいイノベーションを、大会、オリンピック・ムーブメント、そしてスポーツのために活用。
- 東京の優れた技術インフラを活用し、これまでにない競技の実施方法やコミュニケーション、運営方法などを提案。

簡単かつ便利な本人認証・サービスの実現

取組例

どこでも顔パス

- ICTを活用した簡単な本人認証
 - ⇒入国審査、搭乗手続、ホテル、会場出入り等に活用
 - ⇒ウェアラブル・デバイスの利用

どこでもマネーチャージ

- 本人認証を活用した便利なサービス
 - ⇒どこでも現地通貨をICチャージ
 - ⇒Debit/Creditカードを使用

2020年オリンピック・パラリンピック立候補ファイル(抜粋)

- 東京は、輸送力の高い2つの国際空港を擁し、想定される輸送需要に十分対応可能。
- 担当スタッフが国内便への乗り換え等の案内・誘導を実施。
- 出発までの時間を快適に過ごすことができるよう十分な便宜を図る。

安心・安全かつ円滑な輸送・誘導の実現

取組例

ITSの推進

- ITSによる自動走行システムの実現

G空間×ICTの推進

- G空間情報（位置情報）を活用した最適な誘導・情報配信の実現

2020年オリンピック・パラリンピック立候補ファイル（抜粋）

- ITSなどの最先端の情報通信技術を駆使した大会輸送運営システムを構築。
- 会場へのアクセシビリティが最大化されるよう適切な標識及びシステムを確保。

「オープンデータ+ウェアラブル」オリンピックの実現

取組例

「多様かつ迅速な情報提供」と「新たなアプリ開発の促進」

- オープンデータ化に向けた基盤構築
 - ⇒ 競技関連、公共交通、観光、防災等の分野
 - ⇒ 多言語対応や障害者対応（音声案内等）も実施
- ウェアラブル・デバイスの活用

2020年オリンピック・パラリンピック立候補ファイル(抜粋)

- ▶ 東京大会のコミュニケーションは、日本の優れたITを使い、様々なチャンネルや手段を活用して実施。
- ▶ 安定した高速通信、信頼性の高い情報システム、超高精細映像機器、超高速度カメラなどの、映像、写真技術を提供。

国内外で感動を共有できる視聴環境の整備

取組例

4K・8Kの推進

- **4K・8K放送の推進**
 - ⇒ 4K：2016年までに本放送を実現
 - ⇒ 8K：2016年に試験放送を開始、2020年に本放送を目指す
- **誰もが4K・8K映像を視聴できる環境の実現**
 - ⇒ 国内外でのパブリックビューイングの実施

2020年オリンピック・パラリンピック立候補ファイル(抜粋)

- 東京の有名な公園に大型スクリーンを設置してチケットを持たない人々も感動を共有。
- 東日本大震災の被災地にもライブサイトを設置し、東京の会場と中継でつなぐ。
- 選手村の居住ゾーンの至るところにライブ映像やタッチスクリーンを整備。
- 信頼性の高いINFOシステム、記録情報システム(CIS)、超高精細映像機器や超高速カメラなどの映像・写真技術を提供。

全ての人々が、あらゆる場面※で、安全で快適にオリンピックを享受

※防災・医療・観光・移動など

取組例

「グローバルコミュニケーション計画」の推進

多言語字幕サービスの
実現

ICTによる生活行動支援

■ 多言語音声翻訳システムの
社会実装
⇒「言葉の壁」をなくす

■ スマートテレビを活用した
多言語字幕サービス
⇒外国人観光客の情報アクセ
スを実現

■ バリアフリーマップやネッ
トワークロボットを活用
⇒高齢者等の生活行動支援

2020年オリンピック・パラリンピック立候補ファイル(抜粋)

- ▶ パラリンピック競技大会は、アクセシビリティに配慮した会場やインフラの整備を促進。
- ▶ 障害者や高齢者をはじめ全ての人々が安全で快適に移動できるようになり、ユニバーサルデザイン都市・東京の実現を促進。
- ▶ コミュニケーション上のバリアフリー化及びアクセシビリティを実現し推進するために、実証された最新技術を活用。

ユニークな文化や最先端技術等、日本の魅力を世界に発信

取組例

放送コンテンツの海外展開

- 各地域の魅力や最先端技術を世界に発信
⇒ 日本への観光誘致や外需取込を促進

外国人向けテレビ 国際放送の充実強化

- NHKワールドTVの充実・強化
⇒ 日本への正しい理解の促進や観光誘致に寄与

ICTショーケース ／街づくり

- 最先端ICT（5G等）を世界にPR
- 先進的なICT街づくりを国内外に展開

2020年オリンピック・パラリンピック立候補ファイル(抜粋)

- 日本の文化と伝統はユニーク。東京は伝統的な習慣や尊敬がイノベーションやハイテク技術と融合した類まれな都市。
- 2020年東京大会では、東洋と西洋が融合し、古いも若きもともに過去と現代を共有し楽しむ。

世界最高水準のICTインフラの整備

取組例

競争政策の 見直し等

- 電気通信事業法等の制度見直し等を実施

最適なネットワーク 環境の整備

- 爆発的な通信量に対応した、誰もが利用できるネットワーク環境を整備

無料公衆無線LAN の整備促進

- 訪日外国人が快適に利用できる無料公衆無線LAN環境を実現

情報セキュリティ 対策の推進

- サイバー攻撃への対応など、安心・安全な大会を実現

2020年オリンピック・パラリンピック立候補ファイル(抜粋)

- 2020年東京大会のコミュニケーション・プログラムは、日本の優れたITを使い、様々なコミュニケーション・チャネルや手段を活用して実施。
- 固定電話から映像配信まで様々な種類の通信を提供できる高速大容量の通信ネットワークが日本中で利用可能。
- 全ての競技会場等で、無線LAN、LTE、WiMAXなど、高速・大容量のデータ通信用ワイヤレスサービスを利用可能。

「みんなで作るオリンピック」の実現

取組例

アイデア・コンテスト の開催

- 国内外から、ICT活用のアイデアを募集
- 良いアイデアから実行

オリンピック・パラリンピック ICTサポーターズ(仮称)の創設

- ICTスキルを認定されたボランティア
- 初等・中等教育段階からのプログラミング教育の充実

◆ スマートな入国手続き

- ウェアラブルデバイスを利用した本人認証による、簡単なチェックイン・入国審査・会場出入りなどを実現。

◆ スマートな移動

- お台場を舞台にした、電気自動車の無人運転による輸送を実現。
- 精度の高い人間サイズの歩行誘導ができるインフラストラクチャーの実用化と整備。
- 準天頂衛星と連動して精度の高い自動運転ができるICT武装をしたスーパー車イス等を開発・実用化。
- 直下型大規模災害まで想定したスタジアム等からのスマートな避難誘導を実現。

◆ 各種関連情報のオープンデータ化

- バスや地下鉄の運行状況など様々な情報のオープンデータ化、これらを利用したアプリ開発を推進。
- オープンデータのルール作りを通じ、国民が幅広く参加・協力できるプラットフォームを構築。
- 選手や審判、観客によるウェアラブル・デバイスの使用を実現。
- 訪日外国人等が、新たなICTデバイスを活用して能動的に歩き回れるまちづくりを推進。

◆ 超高精細映像の視聴環境の整備

- 超高精細で臨場感あふれる「8K」映像をオリンピック会場の内外に「日本」ブランドで配信。
- 「8K」を基盤映像技術とした通信サービス(国内外でのパブリックビューイングの実施、対話型デジタルサイネージの活用など)。

◆ ユニバーサル環境の整備

- ▶ パラリンピックにおけるバリアフリーの問題は非常に重要。
- ▶ 道路の傾斜情報等を盛り込んだバリアフリー・マップ・データの整備が重要。車いすのロボット化等に活用。
- ▶ ハンディキャップを持った人たちをICT武装して健常者以上の能力を実現(例:ICT武装をしたスーパー車イス等の開発)。
- ▶ 人を介したサポートも重要(例:ICTを使いこなすボランティアの育成、クラウドソーシングの活用)。

◆ 日本の情報や魅力の発信

- ▶ 東京オリンピックの成果を東京にとどまらせず全国津々浦々に拡大。海外から来た方を東・西日本に誘導させる戦略が必要。
- ▶ 今後開催されるオリンピックに対するICTの展開も期待可能。
- ▶ 外需を誘引できる仕組みが大事。「誰に向けたショーケースか」の意識が必要。

◆ 世界最高水準のICTインフラの整備

- ▶ ロンドンオリンピックの教訓などを踏まえた情報セキュリティ対策の強化。
- ▶ 外国人の利便性を高める無料公衆無線LANの早期整備。

◆ 国民参加の実現

- ▶ 様々なアイデアを広く世界中から募るコンテストを開催。トップダウンの発想だけでなく、個人の考え方をボトムアップで募集。
- ▶ 初等・中等教育段階からのプログラミング教育の充実により、我が国のICT人材を底上げ。
- ▶ ICTスキル認定と組み合わせて、オリンピック・ICTサポーターズのようなスキームを創設。